

大分県

届出事業所からの「水域への人に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（令和元年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大分市	961,542	ヒドラジン 755,300	砒素及びその無機化合物 39,000	セレン及びその化合物 37,000
2	別府市	146,560	砒素及びその無機化合物 130,010	ほう素化合物 12,015	ふっ化水素及びその水溶性塩 3,917
3	日田市	112,511	EPN 53,550	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 3,150	チオベンカルブ 3,150
4	津久見市	27,484	EPN 11,730	シマジン (CAT) 1,320	チオベンカルブ 700
5	臼杵市	22,061	EPN 13,583	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 1,600	1,4-ジオキサン 808
6	速見郡日 出町	19,735	EPN 13,770	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 810	6価クロム化合物 800
7	国東市	17,703	EPN 12,546	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 738	6価クロム化合物 736
8	杵築市	8,942	EPN 6,069	水銀及びその化合物 400	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 400